

◆ エネチャレンジ事業の結果

■エネルギー施策に関する問合せ
経済部エネルギー推進室 (☎ 27 - 5089)



★ キッズ・エネチャレンジ事業

■キッズ・エネチャレンジ事業の概要

子どもたちのそれぞれの創意工夫により、省エネ・節電の取り組みを設定し、実践した結果を応募していただきました。

今回は冬休み期間で実施した取り組みを募集し、より優れた取り組みを最優秀賞として決定しました。

■最優秀賞に選ばれた取り組み内容（抜粋）

★当別小学校 4年 茶畑 悠衣 さん

【チャレンジ内容】

- ①掃除機をかける前に、使わなくなった服をぞうきん代わりにしてゆかそうじをし、掃除機の使用量を減らす。
- ②食べ切りサイズの食材を買い、痛まないうちに食べ切るようにすることで、ごみの量を減らす。



【取り組んだ結果】

冷蔵庫の食材を食べきれないように考えながら買い物をするようになった。以前は冷蔵庫の中に食材がたくさん入っているとうれしかったが、その分冷やすエネルギーがかかっていたことも知ることができた。

★西当別小学校 6年 山田 芽依 さん

【チャレンジ内容】

テレビを見る時間を1時間半以内に減らす。

【取り組んだ結果】

テレビを見る時間を2時間から1時間半くらいに減らすことを1週間続け、約3時間30分減らした。その結果、電気料金を約3円、二酸化炭素を約48g減らすことができた。

★当別中学校 2年 茶畑 蓮 さん

【チャレンジ内容】

冬なので電気をいつもより多く使っていて、特に無駄に使っているもの（電灯、ヒーターなど）を、使わない時はなるべく使わないようにする。

【取り組んだ結果】

電気代が浮き、灯油の減りも少なくなった。夜間の節電によって、規則正しい生活にもなった。

★西当別中学校 1年 小貫 幸乃 さん

【チャレンジ内容】

お風呂のお湯をためる時間を毎日7分減らす（1分減らすと、18ℓのお湯の節水になる）。

【取り組んだ結果】

毎日18ℓの節水を冬休み中（25日間）続け、480ℓの水を節水できたことになる。水道料金にすると108円。さらに、ガス1.25㎡、125円分の節約にもなった。



★ エネチャレンジ事業【一般部門】

■エネチャレンジ事業の概要

家庭で省エネ・節電を実践し、電力削減量を応募していただきました。

削減量は、平成30年と令和元年の「10月分から12月分の電力使用量の合計」を比べて算出しました。

■削減量が多かった上位の3人の削減量結果

(単位：kWh)

	平成30年 電力使用量	令和元年 電力使用量	削減量
1	2,102	1,930	172
2	584	433	151
3	696	632	64

■参加者の取り組み内容や意見・感想（抜粋）

- ・「ことぶき大学」で省エネ講座を受け、このままではいけないと気付いた。節電はとにかく電気を使わないことを意識し、実験のように楽しんだ。去年の生活はいかに無自覚だったかと反省した。
- ・既に電気のLED化を終えており、家電の老朽化もあり節電に行き詰まりを感じている。これ以上の節電には、家電の更新が必要と思われる。
- ・数値で見ると、どういう原因で増減があるのか考えるきっかけになるので良い取り組みだと思う。